



難民の友に、難民と共に

アルペ通信 No.4

2022年8月

NPO 法人 アルペなんみんセンター 〒248-0001 神奈川県鎌倉市十二所80 イエズ会 日本殉教者修道院

Tel 0467-55-5422 E-mail: info@arrupe-refugee.jp <https://arrupe-refugee.jp>



公益社団法人 鎌倉青年会議所 主催 第54回慈善茶会 (2022年5月14日 鎌倉大仏殿高徳院)

最近の アルペ

4月にはウクライナ避難民二人を迎えました。全く言葉が通じない方を迎えるのは初めてで、入居者もスタッフも不安でいっぱいでした。でもお互いが一生懸命向き合うと不思議と伝わり、いつの間にかすっかり家族の一員になりました。外国から直接難民を受け入れるのも初めての経験で、新しい学びが多い期間でした。

一方で、在留資格を一日で受け取り、行政からの支援も厚いウクライナの二人と、未だ難民認定を待つ他の入居者たちの違いが浮き

彫りになり、スタッフ入居者ともに複雑な気持ちを抱いた期間でもありました。

そんな中で、鎌倉大仏殿高徳院ではアルペ支援の慈善茶会を開催いただいたり、平和を願うパレードや学区の小学生との交流会にご招待いただいたりと地元との繋がりがますます増えたことを実感しました。

地域で居場所が見つかる嬉しい事例もありました。これからも難民が地域社会に受け入れられ、それぞれの良さを活かして活躍できるよう活動を続けてまいります。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

世界難民の日 2022 今年「観音様のつどい」に参加しました



大船観音寺（鎌倉市大船）では6月18日から3日間、世界難民の日にあわせたイベントが開催されました。

アルペなんみんセンターは初日に境内のブースで活動を紹介、本堂では「難民講座」として日本と世界の難民の状況について講演を行いました。厳かな雰囲気の本堂は満席となり、地域の方々の難民についての関心の高まりを感じました。

講演に続いて、今回初の試みとなった朗読劇が

披露されました。スリランカ難民のリヴィさんからの聞き取りを元に、演出家の嶽本あゆ美さんが「My Life Plan」というタイトルで脚本を起し、俳優の平良太宣さんが朗読しました。リヴィさんのこれまで体験してきた様々な思いが、平良さんの熱演を通して表現されました。朗読終了後すぐに、リヴィさんは平良さんのもとに駆け寄り、自分の思いを語ってもらえた喜びを伝えました。難民の現状を広く知ってもらうための新たな手段にもなるでしょう。

この日から3日間、夕刻から観音像は難民支援カラーの青色にライトアップされました。「世の音を観る」ことで、人々の叫びや願いを聴こうとする観世音菩薩は、いま特に難民の方々の声に耳を傾けておられることでしょうか。ともに祈り、ともに歩んでいけますように。

地域連携コーディネーター 漆原 比呂志

ウクライナ料理で笑顔に



4月22日に鎌倉駅すぐのレストラン「まちの社員食堂」でウクライナ料理を振る舞う企画を行いました。

アルペに来たばかりのナターシャさんはウクライナで料理人として40年以上働いた大ベテラン！戦禍での暮らしと日本への長旅で疲れている様子でしたが、遊びに行ったレストランの厨房を見るとシャキッと背筋が伸び、顔つきが変わりました。

「鎌倉の人たちにウクライナの味を知ってほしい」と料理を振る舞うことを決めたナターシャさん。慣れない日本の調理環境に苦戦しながらも、農家の方が用意してくれた鎌倉野菜も使い、ボルシチにピロシキ、サラダにデザート、ジュースまで作ってくれました。ナターシャさんの包丁さばきは本当に鮮やかで、あっという間に40人分の料理を作っています。

当日お店いっぱい集まったお客さんは、笑顔いっぱい、ボルシチの最後の一滴まで残さず食べました。そして、日本語がわからないナターシャさんのためにウクライナ語を練習し「Смачно（おいしい）」^{スマチーノ}「Дякую（ありがとう）」^{ジャクユー}と声をかけて帰って行きました。その様子を見て嬉しそうなナターシャさん。言葉が通じない慣れない日本で、自分の国で培った力を活かして役に立てることは、とても嬉しいことなのかも知れません。

プログラムコーディネーター 及川 いずみ

「ただの偶然？」



ある時、6歳になるコンゴ人の女の子が風邪をひきました。女子高生のKさんが、遊びに来る予定だったので、日にちをずらしてもらいました。熱も下がり、元気になったので改めてKさんに来てもらうことになりました。楽しく過ごしたKさんが帰って、しばらくした後で玄関の鍵を閉め忘れたことに気がつきました。その日は、日曜日だったので、事務所がお休みだったからです。

玄関に着くと、白い車が駐車場に入ってくるのが見えました。それはまるで、その時間にそこで会うようにと決められていたように。車から現れたのは、近所の日本キリスト教団・鎌倉泉水教会の櫻井牧師さんでした。毎月、信徒に呼びかけて集めた食料品を届けにいらしたのです。多くの人々に支えられています。感謝、感謝！

他にも、休日に大型の荷物が届くので受け取ってほしいと頼まれたことがあります。料理の仕事が一段落したので、本を読みながら気長に待とうと玄関に向かうと、それを知っていたかのように配送車が到着。これって、ただの偶然？

調理担当 Sr. 津田 和加子
 コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会

2021年度 会計報告 ご支援ありがとうございました！

*活動報告・決算の詳細は、ホームページでご覧いただけます。

収入の部		支出の部	
受取会費	400,000	支援費	2,736,015
		水道光熱費	2,199,737
受取寄附金	22,186,043	消耗品費	1,945,009
		通信運搬費	649,349
助成金	8,884,000	印刷製本費	788,100
		広告宣伝費	652,564
その他の収益	1,082	施設維持管理費	2,061,474
		人件費・謝金	5,565,016
ボランティア 受入評価益	7,837,440	ボランティア評価費用	7,837,440
		施設等評価費用	6,000,000
施設等 受入評価益	6,000,000	その他事業費	1,358,383
		管理費等	5,307,496
合計	45,308,565	合計	37,100,583
単位：円		当期正味財産増減額	8,207,982
		前期繰越正味財産額	12,549,768
		次期繰越正味財産額	20,757,750

2021年度は、1,297件のご寄付をいただきました。鎌倉市内、神奈川県内からはもちろんのこと、全国から、さらに海外からもご支援をいただきながら活動を継続できていることを実感した1年でした。スタッフ一同心よりお礼申し上げます。

クリスマス前には、ご寄付とともにメッセージや祈りの言葉をたくさんお送りいただきました。ふりがなと英訳をつけて食堂に掲示し、遠方からも応援してくださる方々の声を入居者に伝えました。

2022年度も引き続きアルペなんみんセンターをご支援いただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

法人事務担当 山崎 恵





就職 が決まり、アルペから独立したMさんは、大切にしている仏像を大事に抱えて5月上旬に新居に引っ越しました。人懐っこく、気配り上手なMさんは、介護の職場でも人気者です。新しい生活にも慣れ、休日にはアルペファミリーの広告塔として、今でも多くの人に活動を紹介し、イベントに駆けつけてくれます。難民のことを多くの人に知ってほしい!という彼女の強い望みは私たちみんなの願い。これからも一緒に頑張っていきます。

3年目 を迎えたアルペの最長入居者となったBさんは、芝刈り、草むしり、コンポストの掃除など、やっかいな仕事を引き受け、黙々と進めています。ウクライナから来たAさんやバングラデシュのIさんも持病の腰痛や膝痛の具合をみながら、芝刈りを手伝ってくれます。アルペが居心地のよい場所となるように、マイペースに力を合わせ、取り組んでいます。



仮放免 でアルペに来たHさんは自然が大好きです。入管での収容生活で触れられなかった自然との時間を取り戻すかのように、お天気のよい日には裸足で芝生を気持ちよさそうに歩き、時間をかけて庭や畑を散策します。毎週の畑仕事にも欠かさず参加し、季節折々の花を食堂や聖堂に飾ってくれます。彼女の豊かな感性を生かせる場が見つかるよう探し求めています。

プログラムコーディネーター 松浦 由佳子

もっと知りたい アルペ

ホームページ

「アルペなんみん」で検索。お知らせ、活動報告等を掲載しています。クレジットカードでのご寄付も可能です。



YouTube

活動紹介動画等を配信しています。



Facebook

お知らせ、活動報告等を掲載しています。



ご寄付のお願い

アルペなんみんセンターは、皆様のご寄付によって支えられています。ご支援をお願いいたします。

● ホームページからご寄付 (クレジットカード、銀行振込)

アルペなんみんセンターのホームページから、クレジットカード、銀行振込でのご寄付が可能です。クレジットカードの場合、継続寄付もお選びいただけます。



● 郵便振替口座でのご寄付

【口座番号】 00250-6-107205

【加入者名】 NPO 法人アルペなんみんセンター

NPO 法人アルペなんみんセンター

〒248-0001 神奈川県鎌倉市十二所80 Tel 0467-55-5422
E-mail: info@arrupe-refugee.jp https://arrupe-refugee.jp

編集・発行 有川憲治 発行日 2022年7月20日